

※ホープス・サポート91の
記事は次号で掲載いたします。

ワークショップ上野幌 管理者 伊藤 麻子

私は『食』には人を笑顔にし、人と人を繋ぐ力があると思っています。

ワークショップ上野幌では「カフェ運営」「食材配達」「菓子製造」「おやつ作り」など、活動の中で『食』が関わっており、これは事業所ならではの特徴でもあります。

その『食』を中心に支えているのが栄養士です。外部委託が増える中、ワークでは今も直営給食を続けています。物価高騰による厳しい状況でも「できない」ではなく「どうしたらできるか」を一緒に考えてくれる姿勢が事業所全体に良い影響を与えています。

今年度は新メニュー、新作菓子に加えてパン作りも再開します。これからも『食』を通して、皆様に楽しみや幸せをお届けできるよう取り組んでまいります。

幌西ほうおん 管理者 富永 一史

今年度も、この地で利用者様に癒されながら、お仕事ができることに感謝です。

最近では、TV効果もあり、ほうおん園のポチくん像に会いに訪れる方々の「ほのぼの」とした光景をよく目にします。3Fの「多目的活動室」では、絵手紙教室や認知症サポーター教室等の参加を終えた方々が、そのままcaféすみれへと。またお友達同士やご家族との大切な時間をcaféでという微笑ましい風景も😊。🍄グリーンホーム厚別の生椎茸も大人気、今では週に50個の売行き！

最後に、この発祥の地は今もなお「温かい人たちが」、自然と集ってきてくれる凄いところなのだなど、強く感じます。これからもつながるこころのバトンをつなげるべく「みんな」で邁進致します。

まごころ保育園 園長 中瀬 由美

この4月に開園15年目に入り、卒園した子ども達は150名を超えました。少子化が進みコロナ明けから乳児の入園が急激に減り、保育園運営は大丈夫かと悩む日々ですが、4月1日の在籍人数は、定員数を超過嬉しいスタートとなりました。節目の年だからこそ、職員で保育について、人として、『原点回帰』を大切に、まごころらしい保育の見直しの一年と考えています。前理事長が残して下さった「すべてに暖かい保育」を職員一丸となり連携し、子ども達の育ちをさらに豊かにできるよう、「のびやかに たくましく すこやかに やさしく」の保育理念を基に、令和8年、七転八起。転んでも負けないパワーアップする年として一人一人の成長を目指します。

就業・生活相談室しんさっぽろ 所長 平方

やわらかな陽ざしとともに、春の息吹が日々濃くなってきました。今年度しんさっぽろは相談員、ジョブサポーターの5名体制で始動しています。

就業・生活相談室しんさっぽろは、“働きたい人を応援する”就業に特化した相談室です。ひばりが丘に事業所を構え、日々障がいのある方の“働きたい”や“働きたい”という思いに応えるために、一人ひとり丁寧に向き合っています。

面談を通して会社の困り事を聞いたり、企業に訪問して仕事の様子を見たり、時に相談者と企業の間に入って課題を解決したり等、その業務は多岐に渡ります。

あまり馴染みはないかもしれませんが、しんさっぽろと言えば、“働くための相談室”と覚えていただけますと幸いです。

相談支援事業所ステーション106

相談主任 足立

相談支援事業所ステーション106は、障害のある方やそのご家族が安心して生活を送れるよう、福祉サービスの利用計画の作成や、日常生活に関するさまざまな相談支援を行っています。現在、約290名の方にご利用いただいております。電話や面談でご相談に対応する他、作成した計画が利用者様の状況やニーズに合っているか定期的に確認する為、利用されている事業所などに伺って、普段のご様子や仕事をしているところを見せていただくこともあります。今年度も一人ひとりの思いや状況に寄り添いながら、関係機関と連携し、暮らしを支えるお手伝い出来るよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。